

# めぐみ

2023年  
6月号

学校法人 聖公会北関東学園  
認定こども園  
初雁幼稚園  
〒350-0057 川越市大手町 8-5  
Tel.222-5385 Fax 228-5010  
E-mail hatsukari-kg@nifty.com

## 月1山岳部!!

補助教諭 星 美由紀



約一年前から、体力づくりと3人でのお出掛けということで月一回山登りをしています。登った山は、年長組になってから行く多峯主山、日和田山、ハイキングコースではムーミンパークがあるメツツアに抜ける道、あけぼの公園からの加治丘陵さいたま緑の森博物館など。目的地は同じであっても違う道を歩くことで味わう楽しさが変わり、3人で山登りを満喫していました。

昨年、小5だった娘が思春期に入り、口を聞いてもらえないことが度々あり、山登りにはついて来るのですが、一人で登りはじめ先に行ってしまうことがありました。私たちを待つこともせず、どんどん進んで行く娘、息子と二人で追いつこうとするのですが距離は広がり、姿が見えなくなりました。行き交う人に「女の子通っていききましたか」と尋ねても「通ってないですよ」と言われ焦る私。小5でも大人の女性と間違われる姿の娘を心配し、違う

道に行ってしまう迷子になっているかも…と小さな子どもがなり得ることを考えたりしました。目的地を娘に伝えてあった事で無事会うことができたものの、子ども用の携帯電話も持たせておらず、思春期の行動の思いは汲み取りにくいと、改めて考えさせられる山登りとなりました。

ヒヤッとしたことをきっかけにこれではいけない、娘と向き合わなければと思い違う方向に…シフトチェンジする！私ではなく山登りで楽しいことが増えれば大丈夫なはずと、娘の幼稚園時代の友だち2人に声を掛け、山岳部を増員することにしました。

山登りの場所は遠足で行ったことのある多峯主山へ。久しぶりに会って会話する3人はマジカルバナナのゲームで盛り上がり、笑いが途切れず、「ここ、みんなで息止めて走った場所だね」と地図を確認したり、学校での様子を話し合ったり、ずっと続く山道を流行りの歌を口ずさみながら、楽しく登って行きました。3人は楽しくて、どんどん進んで行きますが、息子、私を時々待つ姿を見せ、腹ペコの息子に合わせてものすごく早い時間の昼食でもニコニコ笑顔の3人。山頂では私も一緒に30分のおやつ交換会。娘との会話が友だちを通してはずんだ瞬間となりました。「次は何する」「3人でショッピング」「おかしづくりをしたいね」など3人を楽しい会話を聞きながら下山し、久しぶりを感じさせないすてきな1日を過ごすことができました。

月一回の山岳部員の近況は、一人はバスケットに夢中で忙しい週末を過ごしているみたいですが、充実した顔を時々買い物先で見せてくれています。もう一人は今でも加入中。先月も「森林公園にサイクリングに行きますよ」と変更しても、一つ返事で楽しく参加してくれています。娘は反抗する態度も少しずつ収まり、家族での会話も弾むことが増えてきました。一人になりたい時間も大切にしつつ、充実した日々を過ごしているようです。部の創立者である自分は早くきた思春期にとまどい、つまずいたこともありましたが、「子育てって奥が深いなあ」と思いにふけり、このことを振り返っております。

次の山岳部予定は梅雨の6月。「ローラーコースターを一緒にすべろう！母ちゃん」と、息子からのリクエストをいただきました。先週日曜学校で行った遠足先の仙元山へ行きたいと思っています。「楽しかったからまた行きたい」息子も山登りを楽しんでいるようです。

# 今月の保育目標と予定

## ☆保育目標☆

今月のテーマ  
「見つける」

### 今月のねがい

- 好きな遊びを楽しみながら、興味や関心が広がる
- 自分の気持ちを伝えようとする
- 神様の創られた自然の不思議さに目を向ける

### 学年別のねがい

- (1歳) 好きな場所、好きなおもちゃが見つかる
- (2歳・満3歳) 好きなものを見つける
- (年少組) 好きな遊びを見つけて、夢中になる
- (年中組) 友だちと遊ぶ楽しさを感じる
- (年長組) 水との触れ合いや自然の不思議さに興味を持つ

### ひとこと

「ありがたい！見て」「きゅうりが大きくなってよ」とさまざまな発見を友だちに伝える子どもたち。年長組が育てている野菜は、どのクラスの子もよく見ている、収穫の日を楽しみにしています。友だちと共有すると、発見の喜びも大きくなりますね。雨が多くなる6月。雨水で色水を作ってみたり、暑い日は水遊びをしたり、新たな発見も多いでしょう。自分の好きな遊びを見つけ、落ち着ける場所で思う存分遊んで欲しいと思います。

今月の聖歌「このはなのように」

今月の歌 「とけいのうた」

## ★予定★

日	曜	行事などの予定
1	木	アルミ缶回収
2	金	花の日礼拝 ↓
3	土	就労家庭保育実施日
4	日	
5	月	おはなしのかい (年中長組)
6	火	
7	水	園児歯科検診
8	木	
9	金	全体礼拝
10	土	キャンプ説明会・幼児部保育参観・父親懇談会 就労家庭保育実施日 職員会議②
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	尿検査再提出日
15	木	
16	金	全体礼拝
17	土	就労家庭保育実施日
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	全体礼拝
24	土	就労家庭保育実施日
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	6月生まれ誕生会
29	木	
30	金	全体礼拝



# チャプレンのページ

忍耐をもって待つ



「農夫は、秋の雨と春の雨が降るまで忍耐しながら、  
大地の尊い実りを待つのです。」

ヤコブの手紙 第5章7節

私はもともと理科系で、機械等が好きです。自動車のパンフレットを眺めたり、新型車の性能や新機能等を調べたりして楽しんでいます。

昨今は半導体不足や戦争で物流が制限されているため、自動車の納車が遅れていると言われています。ちょっと調べてみたところ、トヨタのプリウスで人気の高いグレードは、今注文すると納車が2年以上後とのこと、通常納車までは1～2か月ですので、困っている人もたくさんいるでしょう。私自身、待つのが苦手で子どもの頃から親によく叱られていましたけれども、現代社会は私が子どもの頃よりさらに待つのが難しい世の中になっているように思います。

聖書を読みますと、神様は人間を愛するがゆえに、人間が悪を行い続けても忍耐をもって見守ったと記されています。

旧約聖書の出エジプト記に、エジプトで奴隷として強制労働をさせられていたイスラエルの人たちが、自由を求め帰国を許可するようエジプト王ファラオに願い出た物語が出てきます。交渉は難航しましたが、ついにモーセを先頭に60万人の人たちがエジプトを出て、故郷へ戻っていくことになりました。

旅はなんと40年にわたる日々となりました。一番短い道を行けば一か月でたどり着ける距離なのに、神様は意図的に遠回りをさせたのです。

イスラエルの人々は自由を求めました。強制労働に苦しむ日々から解放されたいと願うのは当然でした。しかし彼らは、自由はなかったものの、食事や最低限の生活はエジプト人によって保障されていたのです。従って自由になるということは、食料や生活の保障もなくなるわけで、それを自分の責任で切り開いていかねばならなかったのです。

ところがイスラエルの人々は、困難に直面するとモーセを責めるばかりでした。エジプトに戻っておいしい食事を食べたいという者まで出てきました。彼らは奴隷でいるうちにすっかり心が打ちひしがれてしまって困難に立ち向かうことができず、指導者へ不平不満をぶつけるしかできない人間になっていたのです。

そのような民に対して、神様は40年という旅をさせたのでした。40年と言えば世代交代をするのに十分すぎる年数です。出発時にいた60万人の人たちは、ほんの一握りの人数を除いて世代交代し、たどり着いたのは旅の途中で生まれた人たちでした。神様は責任をもって自由を担える人たちがそろうのを、長い年月を見守りつつ忍耐を持って待たれたのだと聖書は語っています。

子育ては忍耐の代名詞とも言える取り組みではないでしょうか。自分の思うように子どもが成長したという人はいないでしょう。目に見えない、一人一人異なる子どもの成長に関わりつつ、私たちは何を学ぶのか、改めてしっかり考えてみたいものです。

(鈴木 伸明)

# ま と ク ラ ス の 窓



## つくし組

### 気になる存在



入園から2ヶ月、園での生活にもずいぶん慣れてきました。「こんなことしたいよ」と大きい声で思いを主張してみたり、ハイハイだった子がトコトコと歩き始めたりと変化の大きい2ヶ月でした。

入園当初、自分のことで精いっぱいの様子でしたが少しずつ余裕が出てきて友だちの存在をなんとなく意識するように…。バギーに乗っていると友だちにペタペタ触れてみたり、散歩中に採取した草花を渡してみたりしています。散歩中にはおいしそうなお店のメニュー表から食べさせてあげる真似も。そして「あれ、なんだかおもしろそうなことしているぞ。こんなことしてる！じゃ自分もやっちゃえ」と行動を真似している姿が見られたりします。ある日公園で遊んでいると突然一人が地面にゴロンと寝転がり、その様子を見ていた他の子がゴロン。そして少し離れていたところにいた子までゴロン。きっと何か通じ合うものがあったのでしょう。なんともほほえましい光景でした。大人との関わりもですが、友だちとの関わりがこれからどんどん生まれ、友だちのすることに刺激を受けお互いがどんどん成長していくのだろうなと感じ今からとても楽しみです。

## もも組

### 考える気持ち

5月は寒暖差が大きい日が多く、子どもたちも鼻水、咳、発熱など体調不良が続く日がありました。ある金曜日のおやつ時に早退する子どもがいると「〇ちゃんは、どうしたの」や「なんで、パパお迎え来たの」と心配、気になる様子。「お熱があるんだって。〇ちゃんは鼻水出るんだって」と伝えると「明日(月曜)来るかな」とその時にみんなで話していました。次の週もその子たちはお休みが続くと、朝の会では「今日も〇ちゃんと△ちゃんは鼻水やお熱下らないんだね。大丈夫かな」や「一緒にブロックで遊びたいな。公園行きたいな」と。去年から一緒に遊んだり、ご飯やおやつを食べ、散歩へ出かけたりと、いろいろな時を過ごす中で一人一人が相手の事を気にかけて考える気持ちが芽生えてきました。少し前までは、「自分が今使ってる玩具は、友だちには貸せない」で保育者が間に入ることが多かったのですが、最近では玩具の貸し借りの時に「今使ってるから待ってて。これはどう？」などと相手が好みそうな物を渡す事も増えつつあり成長を感じる毎日です。これからもこの芽生えた気持ちを大切にしていきたいです。

## ちゅうりっぷ組

### 子どもたちの心が友だちでいっぱい

最近子どもたちから友だちの名前がたくさん出てくるようになりました。登園してすぐに「〇くん、〇ちゃんは、もう来てる？」と友だちの姿を確認したり、前日一緒に遊んだことを思い出してまた遊びに誘ったりしています。誰かが泣いていれば「どうして泣いているのかな」と友だちを心配しています。また、4月から大きく変わったのは昼食の時間です。黙々とご飯に向かっていて、とても静かだった昼食の時間が、今では友だちとの会話に夢中になり賑やかで楽しい時間になっています。友だちと顔を合わせて、にこにこしながら食べている姿に先生たちも嬉しく思います。

泣いて怒って気持ちを思いっきり出した4月だったからこそ、今この姿が見えるのだと思います。まだ少し涙する姿も見えますが、友だちが笑わせてくれて笑顔になる子もいます。少しずつ友だちの存在を感じながら、子どもたちの心が友だちでいっぱいになっていくといいなと思います。

## たんぽぽ組

大好きな水を大切に

先日、クラスでにじみ絵をして遊びました。水を使った制作ということで、始める前に水の使い方についてみんなで考えてみました。水は限りあるものだということが、みんなで分け合って使っていることを伝えると、「じゃあ大切にしないと！」と子どもたち。「手を洗うのに、ごしごししてる時は止めたほうがいいよね。」「出しっぱなしはだめだね。」と話し合う子どもたちの姿に感心してしまいました。

話し合いを終えたら、制作スタート！コーヒーフィルターにペンで好きな模様を描いた後、水を垂らすと...じゅわっと色が広がります。たくさん色を使って色が混じり合う様子を楽しむ子もいれば、好きな色だけを使って色を広げていく子もいました。

制作を終えた後、テーブルが水浸しになるだろうと予想していた担任でしたが、わずかに水滴が残っているだけだったのでびっくり！みんなが水を大切にを使って遊んだことが見て分かりました。

暑くなるこれからの時期。神様からのお恵みに感謝するとともに、子どもたちと話したことも大切に、水遊びを楽しんでいきたいと思います。

## すみれ組

互いの存在が支えに

5月の誕生会の出し物は、すみれ組が担当です。内容について話し合いをすると、たくさんの意見が出てなかなかまとまりません。しかし、「みんなでやる」「みんなが楽しいと思うことにする」という思いは、全員の中にありました。話し合いは二日間に渡り、ぶつかり合いながらも、「くろくんとなぞのおばけ」の劇をする、ケーキとくす玉でお祝いすることに決まりました。役決めをすると、絵本の内容とは異なる役や、足りない役もありました。もう一度話し合い、お話の結末をアレンジすることで、劇の流れが決まりました。翌日から準備が始まり、とても楽しそうに取り組んでいました。

いざ練習が始まると、やる気であふれていますが、ちょっぴりおふざけが過ぎる子もいます。3回の練習を経て、「本当に明日大丈夫かな」という不安がありました。迎えた本番！前日までとは違う子どもたちの姿に私たちもびっくりしました。「楽しかったねー！」と言おう子どもたちは自信と達成感に満ちあふれていました。

白黒、赤ピンク、青水色、緑黄緑、紫、ねずみ、読み手、裏方と、チームになって行った今回の劇。互いの存在が支えとなったことを感じました。今回の出し物で自信をつけた子どもたち。ここからの成長がとても楽しみです！

# わが家のまど



### (280) 私の愛「DVD」

ちゅうりっぷ組担当 内田詩緒梨

私の愛読書ならぬ、愛「DVD」をご紹介します。このDVDは私が4歳の頃に祖父からもらいました。社交ダンスをしていた祖父母を幼い頃から近くで見ている私は、祖父母の家に行くとき必ず踊るのが日課でもあり、遊びでもありました。そんなときに渡されたのがこのDVDです。4歳の目からするとキラキラ輝く金の着物や楽しいリズム、両手に持っているサンバ棒がとても魅力的に見え、毎日練習していました。なぜか祖父母の家にはミラーボールや



マイクがあり、コンサート会場気分で練習の成果を発表していたのが楽しかったのを覚えています。周りはずっとこハム太郎に夢中のなか、私はマツケンサンバに夢中な幼少期を過ごす不思議な女の子だったと思います。そんな中、妹が生まれたり、プリキュアに夢中になったりとマツケン離れをし、キラキラ着物よりフリフリの変身ドレスを好きになっていました。しかし2021年の紅白歌合戦出場を機に再び再燃。私のマツケン愛は家だけで収まらず、去年は初雁幼稚園にも飛び出し運動会、誕生会、卒祝など色々な所でとても楽しい経験をさせていただきました。最近ではCMにも引っ張りだこなマツケンサンバ。渋谷ではオリジナルのグッズショップができたり(←もちろん行きました)、今は期間限定のコラボカフェも人気すぎて予約が取れません。どんどん高まるマツケンブームに驚きつつ、また楽しい1年になりそうだわくわくしています(笑)



## 今月の聖書のおはなし



### ☆ 6月2日 花の日礼拝

きれいな花を咲かせてくださる神さまに感謝し、持ち寄った花を神さまにお届けして礼拝します。礼拝の後は、市役所、東京電力、ご近所に感謝の気持ちを込めて花を届けます。

### ☆ 6月9日 「カインとアベル」

創世記4:1~16

アダムとエバに二人の息子が生まれます。兄のカインは土を耕すものになり、弟アベルは羊を飼うものとなりました。ある日、二人は神さまに献げ物を献げます。神さまはアベルとその献げ物には目を留められましたが、カインとその献げ物には目を留められませんでした。このことに激しく怒ったカインは弟アベルを殺してしまいます。それを知った神さまは、カインを呪います。が、彼がだれにも撃たれないように、カインにしるしを付けました。カインは神さまの前から去り、エデンの東に住むようになりました。

### ☆ 6月16日 「ノアの箱舟」

創世記 6:1~9:17

神様は地上の人々の悪事をご覧になって人を造ったことを後悔され、人を拭き去ることを決められました。しかし、ノアだけは神様に従う人でした。神様はノアに大きな箱舟を作るように命じます。そして、出来上がった箱舟にノアとその家族、すべての生き物を一つがいつつ乗せるように言われました。箱舟が完成し、ノアと生き物たちが乗り込むと雨が降り始め 40日40夜降り続けました。洪水が起こり、地上のすべてのものは拭き去られました。箱舟に乗っていたものだけが助かったのです。水が引き大地が乾きノアは箱舟から外に出て、神さまに感謝の献げものを献げました。神様は「もう洪水で世界を滅ぼすことはしない。」と言われ、その約束のしるしに虹をかけられたのでした。

### ☆ 6月23日 「バベルの塔」

創世記 11:1~9

洪水の後、世界中に増え広がった人々はシニアルの平野にやってきて「天まで届く塔のある町を建てて有名になろう」と、高い塔を建て始めました。自分を立派に見せようと、自分の心を満足させることばかり考え始めた人々を見た神様は、同じ言葉を話していた人々の言葉を混乱させました。言葉が通じ合わなくなった人々は塔を作ることができなくなり町の建設をやめて世界各地に散っていったのでした。

### ☆ 6月30日 「アブラハムとイサク」

創世記 18:1~15、21:1~8、22:1~14

年老いたアブラハムと妻のサラには子どもがいませんでした。ある日、3人の旅人(天の使い)がアブラハムの家に立ち寄り、サラに子どもが生まれることを預言します。サラはありえないことだと笑いますが、一年後二人に赤ちゃんが生まれます。赤ちゃんはイサクと名付けられました。イサクが大きくなったころ、神様はアブラハムにイサクを献げるように命じます。神様に従うアブラハムは山の上でイサクを献げようとしますが、神様はそんなアブラハムの信仰を認めイサク奉獻を止めさせ、子孫が増え広がっていくとの祝福の言葉を送りました。